

製品名: ATM マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82984**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC, ELISA, FC
反応性	人間、マウス、サル、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000, ICC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000, FC 1:200-1:400
分子量	350.7kDa

抗原情報

遺伝子名	ATM
別名	AT1; ATA; ATC; ATD; ATE; ATDC; TEL1; TELO1
遺伝子 ID	472.0
SwissProt ID	Q13315
免疫原	大腸菌で発現したヒト ATM (AA: 2577-3056) の精製組み換え断片。

背景

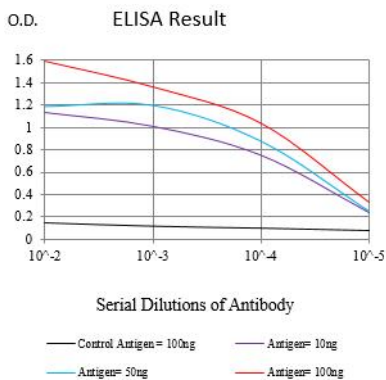
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PI3/PI4 キナーゼファミリーに属します。このタンパク質は、リン酸化を行う重要な細胞周期チェックポイントキナーゼであり、腫瘍抑制タンパク質 p53 および BRCA1、チェックポイントキナーゼ CHK2、チェックポ

イントタンパク質 RAD17 および RAD9、DNA 修復タンパク質 NBS1 など、様々な下流タンパク質の調節因子として機能します。このタンパク質と密接に関連するキナーゼ ATR は、DNA 損傷に対する細胞応答とゲノム安定性に必要な細胞周期チェックポイントシグナル伝達経路のマスターコントローラーであると考えられています。この遺伝子の変異は、常染色体劣性疾患である毛細血管拡張性運動失調症と関連しています。

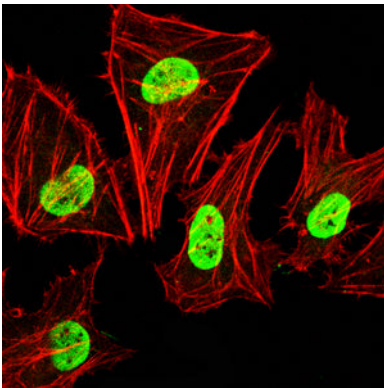
研究分野

-

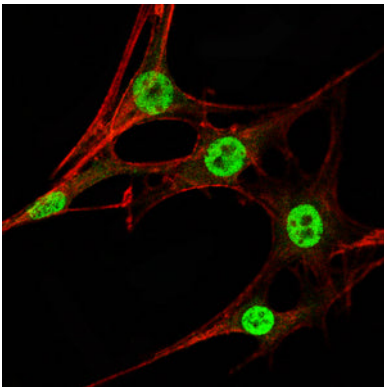
画像データ



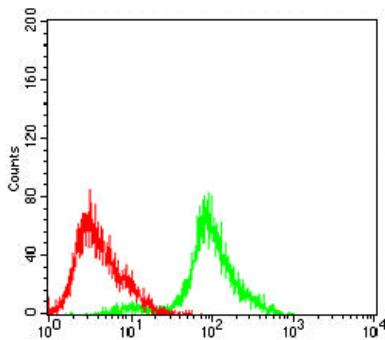
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



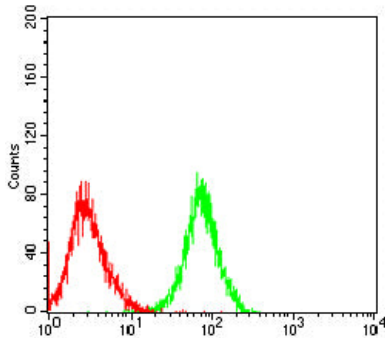
ATM マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



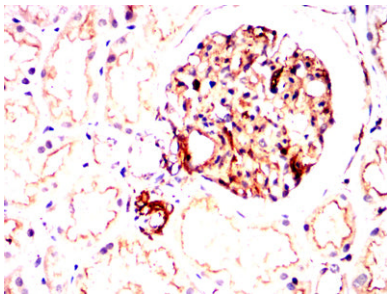
ATM マウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



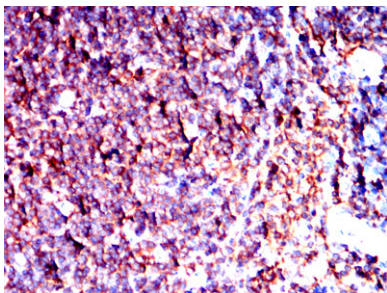
ATM マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



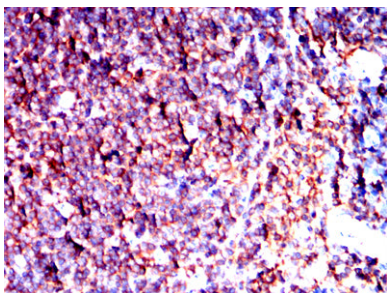
ATM マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した COS-7 細胞のフローサイトメトリー分析。



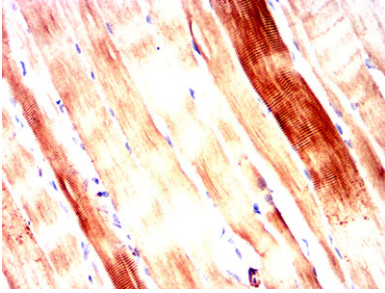
DAB 染色による ATM マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト腎臓組織の免疫組織化学分析。



ATM マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学分析。



ATM マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス脾臓組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色を伴う ATM マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ラット心筋組織の免疫組織化学分析。